

科目名	韓国語 I				担当	裴 湖珠		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2 年前期	実務経験	—	
必修	—				ナンバリング	KE107	DPとの 関連	(幼) 1 (総) 1
授業概要	韓国語の表記体系を成す文字と音韻体系、語構成、文法構造などを概論的に理解する。さらに韓国語と日本語との比較を通して言語学の基礎知識を身につける。韓国語を理論的に理解し、言語理論に基づき、韓国語と日本語の体系の共通点や相違点などを比較し勉強する。							
到達目標 学習成果	1. 韓国語の表記体系を成す文字と音韻体系、語構成、文法構造を理解する 2. 正しい韓国語の発音をする 3. 韓国語の理論や韓国の文化に関する知識を深める							
授業計画	回	内容						
	1	オリエンテーション	ハングル文字の仕組み・ハングルの由来					
	2	韓国語の発音①	基本母音字・基本子音字 I、原理と練習					
	3	韓国語の発音②	複合母音・パッチム					
	4	韓国語の発音③	発音の変化					
	5	挨拶・韓国の地図	基本的な挨拶文と韓国の地名を習う。					
	6	第 1 課・第 2 課	「～は、～です、～が、～ですか」練習問題					
	7	第 3 課	家族の呼び方					
	8	第 4 課・第 5 課	「います・あります」「します・しますか」練習問題					
	9	第 6 課・第 7 課	「～です・～ます」練習問題					
	10	韓国映画鑑賞①	韓国映画鑑賞による韓国の文化理解					
	11	韓国映画鑑賞②	韓国映画鑑賞による韓国の文化理解					
	12	第 8 課	「ヨ体/아/어形」練習問題					
	13	아/어形の縮約パターン	아/어形のまとめ					
	14	第 9 課・第 10 課	漢数詞と固有数詞を習う					
15	時刻の表し方	前期まとめ						
評価基準	基本的な韓国語の書き方や読む事が出来るかで評価する							
評価方法	授業態度 30% 期末試験 60% その他 10% (感想文&授業の中で小テスト)							
フィードバック 方法	小テストは採点後に授業中に返却し、講評する							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、グループワーク							
教科書	『基礎から学ぶ韓国語講座』初級 改訂版 木内 明著 国書刊行会							
参考書	『韓日・日韓辞書』 必要に応じて授業内にプリントを配布する							
履修条件	韓国語と韓国の文化に興味を持っていることが望ましい 「韓国語Ⅱ」を続いて受講することが望ましい							
授業外学習	韓国語は日本語と文法が似ているので覚えやすい 教科書に付いている CD を活用して発音を繰り返し練習すること 言葉は繰り返し練習が重要です。必ず復習と予習をすること							
オフィスアワー	講師室での対応							